

外国にルーツを持つ子どもたちの学びの保障

——多文化共生センター東京の現場から（資料3）

多文化共生センター東京 栢木 典子

中野 真紀子

【資料3】

たぶんかフリースクール「虹の架け橋事業(定住外国人の子どもの就学支援事業)」の概要

(文部科学省の拠出を受けた国際移住機関 (IOM) から受託)

① 架け橋事業対象生徒

- ・2年間で116名の生徒が対象となった。
- ・学齢超過生徒84名が助成をうけ高校進学を果たした。

	学齢超過の子どもたち 高校進学へつなぐ	不登校・不就学（義務教育年齢） 3ヶ月を目途に在籍校へつなぐ	計
2012年度	32名	13名	45名
2013年度	52名	19名	71名

② 虹の架け橋事業助成による授業展開

- ・週20時間の授業が可能になった。
- ・日本語や教科指導が充実した。

	～2011(助成前)	2012年 助成開始	2013年 助成	2014年 助成終了	2015年
授業 時間	週12時間 1日3時間	=虹の架け橋期間(3年間)= 週20時間 1日5時間の授業が実施できた。 (架け橋事業12時間+自主事業8時間=20時間)			未定
午前		2時間	2時間	2時間	未定
午後	3時間(自主事業)	3時間(虹の架け橋事業)	3時間(虹の架け橋業)	3時間(虹の架け橋業)	未定

《たぶんかフリースクールでの授業（助成前～助成時～助成終了）》

③ 虹の架け橋事業による助成金 2,000万円

但し：2014年度1,850万円（2015年2月20日をもって事業終了のため）

- ・人件費：1,540万円 /年
- ・交通費（講師）：240万円 /年

SYNODOS

外国にルーツを持つ子どもたちの学びの保障

——多文化共生センター東京の現場から

<http://synodos.jp/education/12215>

- ・家賃：180万円 /年
- ・その他、教材として印刷製本費、消耗品費等を助成

☆2015年4月以降の後継事業について

- ・文科省が1億2千万円（単年度）の概算要求を出す。
但し予算額としては減額であり、現在の助成額としては、三分の一程度となりそうである。